

第6回吉備国際大学植物保護シンポジウム

— 耐病性品種の利用と農薬創製の最新動向をトピックスとして —

第6回吉備国際大学植物保護シンポジウムでは、園芸作物の総合的病虫害管理 (IPM) にとって重要な耐病性品種を取り上げ、その利用や開発の現状を学びます。また、農薬創製に関する研究の最新動向を知るほか、淡路の農業における病虫害の発生状況と対策について情報を共有します。本学植物クリニックセンターの新たな取り組みについても紹介しますので、奮ってご参加ください。

日時:平成30年 **7月19日(木)** 13:00~17:35

場所:吉備国際大学 南あわじ志知キャンパス C棟 3階 大講義室

参加費 無料 (申し込み不要)

Program

- はじめに**
- 13:00 植物病害の診断と防除に向けて
吉備国際大学 学長・植物クリニックセンター長 眞山 滋志
- 特別講演**
- 13:10 タキイ種苗の耐病性育種の現状
タキイ種苗株式会社 茨城研究農場 研究グループ チーフ 小杉 一夫 氏
- 14:00 主要野菜における抵抗性品種開発の現状と今後の展望
株式会社サカタのタネ 研究顧問 加来 久敏 氏
- 14:50 休憩
- 15:00 農薬創製に関する研究の最近の動向
吉備国際大学 客員教授 梅津 憲治
- 淡路特産野菜の病害対策**
- 15:50 淡路島におけるレタスビッグベイン病耐病性品種の変遷
兵庫県立農林水産技術総合センター・吉備国際大学 農学部 講師 相野 公孝
- 16:15 南あわじの作物生産における病虫害対策の現状
あわじ島農業協同組合 営農部長 柏木 賢治 氏
- 16:35 平成30年産たまねぎ等の病虫害発生状況について
兵庫県淡路県民局 南淡路農業改良普及センター 普及主査 中西 幸太郎 氏
- 植物クリニックセンター研究報告**
- 16:55 ナシの複合病害抵抗性品種
吉備国際大学 農学部 教授 石井 英夫
- 17:20 キノコ廃菌床を用いたレタスビッグベイン病の防除について
吉備国際大学 農学部 准教授 村上 二郎

主催:吉備国際大学 共催:南あわじ市、あわじ島農業協同組合 後援:兵庫県淡路県民局、植物防疫全国協議会

お問い合わせ先

吉備国際大学
南あわじ志知キャンパス
地域連携センター

〒656-0484 兵庫県南あわじ市志知佐礼尾370-1
TEL:0799-42-4708 FAX:0799-42-4701 E-mail:kiu-aw@kiui.ac.jp
HP:http://kiui.jp/pc/branding/
HP:http://plantclinic.kiui.ac.jp/(植物クリニックセンター)